

令和6年度 石見東小学校 研究概要

I 研究主題

「根拠をもとに伝え合い、仲間と共に高め合う児童の育成」
～考えることを楽しみ、協働的な学びをめざす授業づくり～

1 研究主題設定の経緯

本校の教育目標「ふるさとを愛し、自ら考え共に学び、たくましく生き抜く子どもの育成」の実現に向けて、「楽しみながら学ぶ子・互いを思いやり協力する子・ふるさとに学び、地域で育つ子」をめざす子ども像として、授業づくり・心づくり・環境づくり・身体づくりに取り組んでいる。

教育目標、めざす子ども像を受け、今年度の研究主題の設定にあたり、2つの理由を挙げる。

1つ目は、昨年度の研究の課題からである。本校は昨年度まで「自ら願いや問いをもち、仲間と共に高め合う児童の育成」～ふるさとのひと・もの・ことを学習材とした探究的な授業づくり～を研究主題とし、総合的な学習の時間について研究した。研究の成果として、思考の変容やめあて、振り返り、児童同士の話し合い等、他教科でも活かせる内容であったこと。願いや問いを持つことができる児童や、「総合的な学習の時間が好き」という児童が増えたことが挙げられる。しかし一方で、児童同士で高め合う姿は少なく、そのための手立てを深めることもできないという課題が残った。

2つ目は、学力テストの結果である。昨年度の全国学力状況調査及び県学力調査で本校は、算数の得点が全国・県平均を下回り、学力が低い状況であると考えられる。

以上の2つの理由により、算数科を通して前年度の課題である「仲間と共に高め合う」ことに焦点化し、「根拠をもとに伝え合い、仲間と共に高め合う児童の育成」～考えることを楽しみ、協働的な学びをめざす授業づくり～を研究主題とし、研究を進めていくこととした。

今年度、算数科を通してめざしたい子どもの姿を以下のように整理した。

- ①自分の考えについて根拠を明らかにしながら、他者に分かりやすく伝えようとすることができる。
＜根拠をもとに伝え合う＞
- ②①をもとにした話し合いを通して、自分の考えを変容させたり、気づきを深めたりすることができる。
＜仲間と共に高め合う＞

2 研究主題の意図

○「根拠をもとに伝え合う」とは、児童が学んだことや経験したことを拠り所にしながら、自分の考えや思いを表現したり、他者に分かりやすく伝えたりすること。

○「仲間と共に高め合う」とは、児童が話し合いを通して、よりよい考えや解決法を見つけたり、合意形成したりしていること。

そこで、以下の①・②を行うことで、主題である「根拠をもとに伝え合い、仲間と共に高め合う児童」が育成できるとの仮説を立て、研究を行うこととした。

①理由を明確にしながら、考えを伝え合う楽しさを感じられる場の設定

②自分とは異なる他者と考えを交流し、深める「協働的な学び」につながる授業構成の工夫

Ⅱ 研究の内容～研究主題を具現化するために～

研究主題に示した「根拠をもとに伝え合い、仲間と共に高め合う児童の育成」の具現化に向けて、「理由を明確にしながら、考えを伝え合う楽しさを感じられる場の設定」「自分とは異なる他者と考えを交流し、深める協働的な学びにつながる授業構成の工夫」の2つを柱にして研究に取り組む。

[研究構想図]

<学校の教育目標>

ふるさとを愛し、自ら考え共に学び、たくましく生き抜く子どもの育成



<研究主題>

根拠をもとに伝え合い、仲間と共に高め合う児童の育成
～考えることを楽しみ、協働的な学びをめざす授業づくり～



<算数科でめざす子どもの姿>

- ①自分の考えについて根拠を明らかにしながら、他者に分かりやすく伝えようとするができる。
<根拠をもとに伝え合う>
- ②①をもとにした話し合いを通して、自分の考えを変容させたり、気づきを深めたりすることができる。
<仲間と共に高め合う>



<研究仮説>

理由を明確にしながら、考えを伝え合う楽しさを感じられる場の設定をしたり、自分とは異なる他者と考えを交流し、深める「協働的な学び」につながる授業構成の工夫したりすれば、根拠をもとに伝え合い、仲間と共に高め合う子どもたちの姿が見られるであろう。



<研究の内容>

視点1

「考えを伝え合う楽しさを感じられる」授業づくり

- ・基礎学力の定着
- ・思考力→図式化等のイメージを持つ。
- ・説明時に使える学年別算数用語集の利用

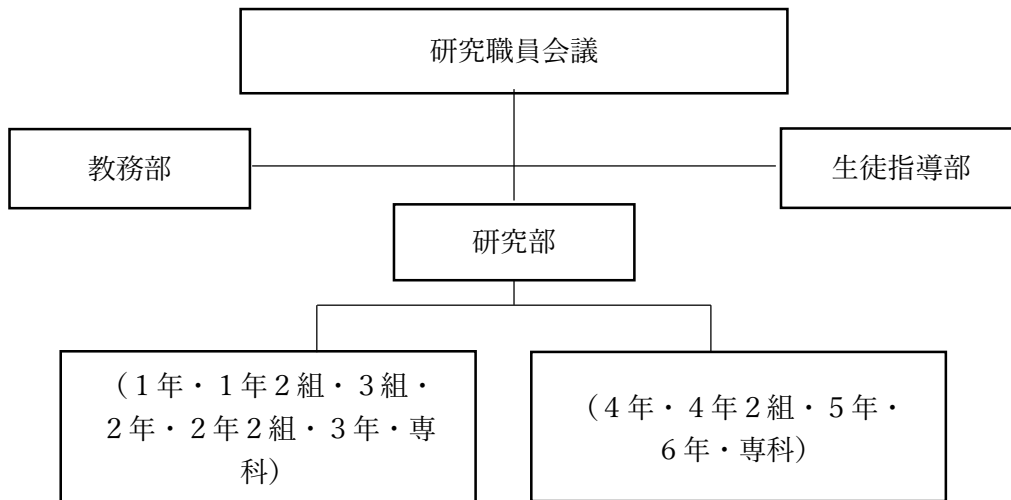
視点2

「協働的な学びを実現できる」授業づくり

- ・導入の工夫
- ・伝え合う、話し合う。

Ⅲ 研究方法

1 研究組織



2 研究日程

日付	研究職員会議内容・授業研究学年	指導案提出 (授業2日前)	司会 写真(授業)	授業記録
4月15日	・今年度の研究の概要について			
5月13日	・今年度の研究の概要について ・指導案の形式について			
6月10日	・研究協議会の持ち方について			
7月8日	・研究のまとめについて ・夏休みの研修について			
9月9日	・各部会相談会 ・研究授業			
10月	・各部会相談会 ・研究授業			
11月	・各部会相談会 ・研究授業			
12月2日	・各部会相談会 ・研究授業			
1月20日	・今年度の振り返りアンケートについて ・研究授業			
2月10日	・今年度の研究の振り返り ・来年度に向けての提案			
3月17日	・来年度の研究の概要提案			